

江戸川台駅東口周辺地区土地利用計画策定業務委託 江戸川台駅周辺における市の考える課題及び検討事項

■駅前広場

- ・平成13年に行われた駅前広場の整備後、約20年で駅の利用形態が変わり、大型バスや自家用車などの利用が増加しています。
- ・この利用状況に現在の広場の形状が対応できておらず、特に通勤時間帯等において、待機車両による混雑が発生しています。
- ・そのため、現在の利用実態に応じた駅前広場の適正規模や配置計画を検討する必要があると考えています。

■公共施設

- ・現在、公共施設としてJA江戸川台支店ビル(以下、「JAビル」という)及び駐車場用地を令和7年まで賃貸借し、江戸川台駅前出張所等として利用しています。JAビルは昭和57年の建築後40年以上が経過した耐震基準を満たしていない建物であり、エレベーターが設置されていないことなどバリアフリー対応も不十分な状況です。
- ・また、駅周辺に公共施設が点在していることから、利便性を高めるために再配置を含めた土地利用の見直しを検討する必要があると考えています。

■ジェット口跡地

- ・令和2年度に、公共施設として活用することを前提として、日本貿易機構(ジェット口)江戸川台職員宿舎跡地(以下、「ジェット口跡地」という)を取得しています。
- ・現存している建物を取り壊す予定であることを前提として、ジェット口跡地の利活用方法について検討する必要があると考えています。

■市民ニーズを反映した計画づくり

- ・事業を進めるにあたっては、市民や商業従事者をはじめとした関係者等のニーズを反映し、江戸川台駅東口周辺の賑わいと魅力を創出できるような計画とする必要があると考えています。

■今後の整備スケジュール(予定)

令和4年度以降：実施設計、建物解体、整備工事